

令和5年度 施策評価シート

施策の大綱	2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実	評価担当者
基本施策	(1) 健康づくりの推進と地域医療の充実	健康福祉部長 林 秀臣
目指す姿	市民一人ひとりが、生き生きと健康に暮らしています。	
関連する分野別計画	亀山市健康まちづくり計画	

■ SDGs

基本施策に関連するSDGsのゴール	 
SDGs推進の考察	健康都市連合日本支部の支部長市となり、総会・大会を通じた加盟自治体等との連携を深めつつ、西東京市との連携した取り組みを進めた。また、かめやま健康都市大学を創設し、医師会・歯科医師会・薬剤師会や講師を担う有識者や包括連携協定の締結事業者の参画を得ることで、パートナーシップの強化を図ることができた。

■ 関連する主な事業

(単位:千円)

施策の方向	事業名	上段: 予算額		実績・成果等
		下段: 決算額		
①	健康都市大学創設・運営事業	6,000		かめやま健康都市大学を創設し、主体的な健康づくりや健康都市の考え方の浸透を図ることができた。また、健都サポーター登録制度により地域への健康活動の拡大に向けた取り組みの準備ができた。
		5,668		
①	アプリdeウェルネス推進事業	8,786		健康マイレージアプリ導入により、市民等の健康に関する意識向上や主体的な健康活動を促すことができた。また他部署と政策間連携を行うことで、相互に集客やアプリ利用に効果があった。
		8,308		
③	がん検診推進事業	90,704		がん検診の受診促進のため、個別通知や広報・HP等での情報発信を実施する際に、ナッジ理論を用いて受診勧奨を行い、受診率の向上に努めた。
		89,542		
③	特定健康診査・特定保健指導事業	26,894		生活習慣病予防や重症化予防につなげるため、市民が受診しやすい特定健康診査と特定保健指導の環境を整え、受診率や利用率の向上を図った。
		24,581		
④	三重大学亀山地域医療学講座支援事業	21,200		寄附講座設置協定に基づいて三重大学への寄附を行い、市立医療センターにおける常勤医師を確保した。
		21,200		
④	滋賀医科大学スポーツ・運動器科学共同研究講座支援事業	25,085		共同研究講座設置協定に基づき、整形外科常勤医師を配置した。
		25,085		
⑤	予防接種費用助成事業	21,258		接種費用の一部助成を行った結果、経済的負担を軽減することができた。広報等で周知啓発を行った結果、接種が子どもの健康に繋がるなどの理解が得られ、市民の健康保持、増進につながった。
		18,891		
⑥	病院総合情報システム更新事業	236,558		計画どおり令和5年10月に新システムを稼働させ、医療業務の円滑化と患者サービスの向上を図ることができた。
		229,502		
①	保険衛生一般事業	1,461		健康都市連合日本支部総会・大会へ市民団体の方との参加や、支部局事務を運営することで、健康都市の考え方の浸透や市民活動に好影響を与えることができた。
		1,172		
②	健康づくり事業	777		健康づくりのための料理講習会を5回、地区伝達講習会を23回開催。出前トークを実施し、17回302人の参加があった。市HPIにこころの体温計を導入し6579件のアクセスがあった。
		480		
③	高齢者人間ドック・脳ドック事業	3,100		人間ドック30人(定員30人)、脳ドック95人(5人キャンセル・定員100人)の受診があり、後期高齢者被保険者の疾病の早期発見や健康管理に寄与し、医療費の適正化に努めた。
		2,934		
③	健康増進事業	10,262		検診事業を実施し、歯周病検診461人、肝炎ウイルス検診438人、骨粗しょう症検診412人が受診し、疾病の早期発見につなげることができた。
		9,593		
③	特定健康診査事業	39,161		特定健康診査は、11月までの実施予定であったが、市内医療機関等での受診に限り、1月末まで延長した。その結果、2,344人の受診があった。また、特定保健指導の未利用者へ個別通知を行い利用につなげた。
		27,787		
④	救急医療対策費	9,997		一次救急医療体制事業及び年末年始歯科在宅医制医療対策事業の契約を締結し、安定的な一次救急体制を確保することができた。
		9,843		
⑤	予防衛生事業	82,478		亀山医師会等と委託契約を締結し、定期予防接種を実施した。定期肺炎球菌においては、対象者が令和6年度から変更になることから、事前にホームページ等で周知を図り、感染症の罹患予防や重症化予防につなげることができた。
		80,633		

太字: 主要事業

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1 健康マイレージの延べ参加者数	人	908	R2	977	1,123			4,000
2 特定健康診査の受診率	%	34.7	R2	40.0 (速報値)	41.7 (速報値)			65.0
3 がん検診の受診率(胃がん)	%	28.8	R2	25.2	25.9			30.5
4 がん検診の受診率(肺がん)	%	25.0	R2	24.9	26.2			27.0
5 がん検診の受診率(大腸がん)	%	23.7	R2	26.5	26.8			25.5
6 医業収支比率	%	86.8	R2	84.59	90.38			99.8
7 国民健康保険事業における被保険者1人当たりの医療費	円	398,389	R2	457,063	472,900			396,000
8 後期高齢者医療事業における被保険者1人当たりの医療費	円	779,330	R2	735,136	761,414			725,000

■ 市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 健康教室や各種検診の内容が充実している	重要度	1.27	1.42	1の設問については、重要度(+0.15)、満足度(+0.17)、2の設問についても重要度(+0.07)、満足度(+0.22)いずれも上昇している。特に1については全体の中でも比較的高い重要度の中、満足度も肯定的な声が多く見られ、一定の施策推進状況の評価があると考えられる。
	満足度	0.42	0.55	
2 医療機関が充実している	重要度	1.54	1.61	
	満足度	▲ 0.39	▲ 0.17	
3	重要度			
	満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 「健康都市」の推進	かめやま健康都市大学を創設し、修了生から「健都サポーター」として人材確保を行った。アプリdeウェルネス推進事業を導入し、市民の主体的な健康活動の実践を図れた。
② 健康な暮らしの支援	生涯を通じた口腔の健康づくりのため、歯周病検診を行うとともに、食生活についての普及啓発のため、食生活改善推進協議会と連携した食育活動に取り組んだ。
③ 疾病予防と重症化予防の推進	健康づくりのてびき等による健診啓発を図りながら、インターネットを活用した受診申込を一部開始するほか、糖尿病性腎症重症化予防事業のプログラムの改訂に取り組んだ。
④ 地域医療体制の強化	三重大学地域医療学講座、滋賀医科大学との共同研究講座を継続し、市立医療センターの医師確保を行った。また、ICTを効果的に運用し医療・介護の多職種連携強化を図った。
⑤ 感染症対策の推進	新型コロナウイルス感染症対策のほか、医師会との連携による適切な予防接種の推進や、带状疱疹ワクチン費用助成の開始など、感染症の流行や重症化の予防に努めた。
⑥ 医療センターの機能強化と経営健全化	常勤の整形外科医師の配置等による診療体制の充実や病院総合情報システムの更新等による機能強化により、安定的な医療の提供と経営健全化に努めた。
⑦ 安心できる公的医療保険制度の運営(国民健康保険事業)	市民課・税務課の連携により収納率の向上が図られ、引き続き保険者努力支援制度の対象事業として重複・多剤服用者に対する取組の実施により、医療費適正化に取り組んだ。
⑦ 安心できる公的医療保険制度の運営(後期高齢者医療事業)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を広域連合から受託し、健康寿命の延伸を図るため、フレイル予防の普及啓発等を行い、医療費の適正化に取り組んだ。

総合評価

<p>「健康都市」の推進及び健康な暮らしの支援については、健康都市の一層の推進に向け、健康ポータルサイト「かめやま健康なび」を中心とした広報、SNSの連携した情報発信に取り組んだ。また、9月にはスマホアプリを活用した新たな健康マイレージ、10月にはかめやま健康都市大学を創設することで、市民の主体的な健康づくり活動の促進を図った。疾病予防と重症化予防の推進については、がん検診受診促進のためナッジ理論を用いた受診勧奨や女性がん検診でのインターネット予約を試行するなど受診しやすい環境づくりに取り組んだものの、受診率は微増にとどまっている。「地域医療体制の強化」及び「医療センターの機能強化と経営健全化」については、三重大学との寄附講座及び、滋賀医科大学との共同研究講座を設置・継続するなど、市立医療センターの診療体制の確保と経営健全化につなげた。感染症対策の推進については、新型コロナウイルス感染症が5類移行となったものの、年度内の臨時接種を継続実施するとともに、亀山医師会と連携した定期接種や任意接種費用助成により、地域内感染の拡大抑制に努めた。安心できる公的医療保険制度の運営については、国民健康保険事業において、特定健康診査の期間の延長やナッジ理論を用いた受診勧奨に取り組む受診率は上向き傾向にあるが、目標達成に至っていない。保険税については税務課による専門的徴収事務の継続により収納率の向上を図ったが、県下ではなお低率となっている。糖尿病重症化予防や重複・多剤服用者対策など各種の保険者努力支援制度の対象事業を実施し、後期高齢者医療事業においては、保険事業と介護予防の一体的実施事業としてハイリスクアプローチのほか、ポピュレーションアプローチとしてフレイル予防を行うなど、医療費の適正化に取り組んだが目標の達成に至っていない。また激変緩和措置の終了に伴い、今後国民健康保険事業の持続可能な制度運営のため、更なる医療費の抑制と財源の確保が必要である。</p>	<h1>B</h1> <p>まずは進んだ</p>
--	--------------------------

今後の展開方針

新たにスタートしたかめやま健康都市大学及びアプリdeウェルネス推進事業の継続実施とその状況の検証を行うとともに、健康都市連合日本支部事務局として、加盟都市間のネットワークや組織の一層の強化を図る。また、国や県の動向を見ながら、コロナ禍以降の新たな感染症対策の検討を行う。三重大学や滋賀医科大学との連携を維持・強化するなどにより、市立医療センターを中心とした地域医療体制の確保に努める。国民健康保険事業及び後期高齢者医療事業について、特定健康診査の受診率の向上に向け、現状の課題分析と新たな取り組みを検討する。また医療費の適正化に向けて、増加する医療費の抑止を図るとともに、国民健康保険税の税率改正を含め、その財源確保を図る。